

防災減災・災害復興に関する学術連携委員会					
委員長	和田 章	副委員長	小松 久男	幹事	米田 雅子、熊谷 博
主な活動	審議内容				
	地震津波・火山爆発・暴風豪雨などによる自然災害への防災減災の推進、およびより良い災害復興を目的に日本学術会議と防災学術連携体（55学会）は連携して取組んでいる。両組織は政府の防災推進国民会議の学術分野を代表するメンバーである。 「学術の動向」特集号（2016.11） <a href="http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/doukou248.html">http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/doukou248.html</a>				
	意思の表出（※見込み含む）				
	平成 28 年 5 月 9 日：熊本地震に関する日本学術会議会長談話が発表された。 <a href="http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-23-d7.pdf">http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-23-d7.pdf</a>				
	開催シンポジウム等				
	平成 28 年 12 月 1 日：公開シンポジウム「激甚化する台風・豪雨災害とその対策」 <a href="http://janet-dr.com/07_event/161201/161201_leef.pdf">http://janet-dr.com/07_event/161201/161201_leef.pdf</a> 平成 29 年 4 月 15 日：公開シンポジウム「熊本地震・1 周年報告会」熊本県庁舎にて <a href="http://janet-dr.com/07_event/170415sympo/170415sympo_leef.pdf">http://janet-dr.com/07_event/170415sympo/170415sympo_leef.pdf</a> 平成 29 年 6 月 2 日：防災関係機関（内閣府防災、JAXA、国土地理院）と意見交換 平成 29 年 11 月 26 日：第二回防災推進国民大会に2つのセッションなどを出展				
開催状況	平成 29 年 6 月 2 日、平成 29 年 9 月 7 日				
第 23 期（3 年間）における成果、課題等	「緊急事態における日本学術会議の活動に関する指針」とも関係し、防災分野の日本学術会議を中心に進む学会の垣根を超えた学術連携は非常に有意義であり必須である。ただ、この要となるべき委員会は3年期限の課題別委員会であり若干不安定である。災害対策は長期に亘るため、今後は安定的な委員会が必要と考える。加えて、日本学術会議を要とした学会・学術連携は多くの分野で進めるべきであり、これらの活動を支えるより良い仕組みが必要と考える。				